



1学期が終わりました

約70日間の1学期が本日で終了します。1学期は体育大会や中総体等の行事で、生徒の活躍や成長が大いに感じられました。4月や今月初めの土曜授業での授業参観や学年PTAでは、保護者の皆様に学校や生徒の様子をお知らせすることができ、生き生きとした姿をご覧になられたことと思います。

さて、明日からは約40日間の夏休みに入ります。終業式を区切りとして、各自が1学期の生活面や学習面を振り返る良い機会です。子どもたちの成長の記録は、本日配付の通知表に記載されています。学習面では評定の数字が気になるところかもしれませんが、各教科の観点（○や△）にも着目し、今後の学習に生かすことが大切です。来週から1・2年生は保護者面談、3年生は三者面談が始まります。その中で話題にあがった内容を、夏休み中や2学期以降の生活に生かしてもらいたいと思います。

長崎県中総体出場について

7月22日（土） 長崎市総合運動公園かきどまり庭球場

ソフトテニス団体戦 深堀中 VS 江迎中（佐世保市）

3年生を中心として長崎市の中総体以降もこの県中総体に向けて練習を積み、いよいよこの週末に佐世保市の代表である江迎中学校と対戦します。これまでの集大成として、個々が自信を持って堂々とプレーを行い、長崎市の代表として「感謝・マナー・勝負」の姿を見せてほしいものです。

命の尊さを再確認しましょう

1982年7月23日に起きた「長崎大水害」から、今年で41年目になります。この災害により、死者、行方不明者数299人という尊い命が犠牲になりました。当時、私の家の前の道路は水害によって陥没し、夜中に濁流で人が流されるということがありました。翌朝、地中の水道管があらわになっており、集中豪雨の爪痕が目に見え込んできました。そのため、電気、水道、ガス等のライフラインを失い、長い間不自由な生活を強いられました。幸いなことに、家族や住居は無事でしたが、同級生は家族を亡くすという大きな悲しみに見舞われました。この大水害で、災害の恐ろしさや人の命のはかなさを痛切に感じ、毎年この季節には当時の記憶が鮮明によみがえります。私たち長崎県民は、特にこの出来事を忘れてはならないと思います。

夏休みになると日本各地で、水の事故や交通事故、あるいは自らの命を絶ってしまうことなど、悲しい出来事が報道されます。命を大切に、自分の命は自分で守り、家族を含め周りの人たちが支えとなることを忘れずに、元気に楽しく有意義に夏休みを過ごしてほしいと思います。そして2学期を全員で元気に迎え、それぞれの生徒が自分の目標に向けて力を発揮し、深堀中がさらに発展することを期待しています。

深堀中生の活躍

第40回NHK全国中学校放送コンテスト長崎県大会 アナウンス部門

優秀賞 3年生

※CD録音の審査で長崎県の代表として全国大会に引き続き出場となります。

第61回原爆忌文芸大会ジュニアの部

【俳句の部】

長崎市長賞 3年生

入選 2年生

【短歌の部】

入選 1年生

1年生

第73回社会を明るくする運動 長崎地区中学・高校生弁論大会出場

7月24日（月）長崎新聞文化ホール アストピアで実施

3年生

1学期終了近くに、次々と深堀中生のすばらしい活躍のニュースが入ってきました。

これからの夏休みに、各教科からそれぞれ課題が出されています。早く仕上げ提出しようという気持ちも大事ですが、いつもよりじっくりと時間をかけて取り組み、よりよいものを目指して作品作りを行ってはどうでしょうか。作品作りを楽しみながら取り組むことで、生徒の皆さんのすばらしい可能性を引き出すことができるかもしれません。また、この機会に普段から興味を抱いている分野を没頭して調べ、自分なりの考察を導き出すこともよいかもしれません。

【8月9日（水）は9時15分までに登校です。】